

Public Relations

広
報



<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>



今月の表紙　ちびっこボランティア　～おじいちゃんとおばあちゃんに元気を届けたよ

2008 津別ウッドクラフト展　10作品が入賞しました

津別町総合計画策定審議会～町の将来像・解決すべき課題など討議結果の発表～

まちの話題　まちづくりの功績に感謝　功労者・善行者を表彰

温故知新
日記に刻まれた人生
布川 柏葉 雄一 さん

2008.12
NO.552

2008津別ウッドクラフト展

あつたらいいなあ、こんなもの

使って楽しい、飾って楽しい

木の用品

愛林のまち・津別町の木工コンテスト「2008ウッドクラフト展」11回目となる今回のテーマは「子ども部屋を彩る木の用品」です。今回は全国各地からテーマに沿った39点の作品が寄せられました。審査の結果、入賞した10点の作品をご紹介します。

大人の部 最優秀賞 「さんぼ」



村上 章さん（宮城県大崎市）
上下左右どの角度からでもカルガモの動きが楽しめるのはもちろん、先端の蝶々が回るなど細かいところも手が込んでいて見事です。オルゴールの音色に合わせ、ぜんまい仕掛けで散歩するカルガモはずっと見ていたい。デザイン、技術ともパーフェクトな素晴らしい作品です。



大人の部 優秀賞
「時を飾る椅子」
小野 暁さん（旭川市）
実用的な作品。背もたれ部、座部とも曲線で、座りやすく疲れにくい作りになっていて機能性に富んでいます。また、デザインをはじめ、色のコントラストもきれいです。



子どもの部 優秀賞
「鳥と犬とわたし」
長良 樹里香さん（津別町）
木のやさしさ、温かさが感じられる作品です。何と言っても、足元になつく犬の甘えた感じがかわいい。造形力もあり、カレンダーなどの写真に使えそうです。

子どもの部 最優秀賞 「ランプ」



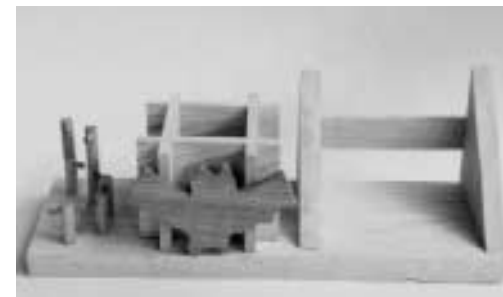
白鳥 哉一さん（北海道津別町）
身近な木の枝を組み合わせ、上手に作り上げています。和紙の色のバランスも上手く、中のランプの灯りに映し出される和紙の繊維も美しい雰囲気をかもしだしています。



子どもの部 審査員特別賞
「ガンダム空中分解」
山田 崇生さん（津別町）
作成に相当な時間を要したと思います。根気強さに感服し努力賞です。



子どもの部 優秀賞
「どんぐり公園」
前田 愛佳さん（津別町）
楽しそうで、子どもの作品という感じがします。見ているとウキウキしてきます。子どもたちの歓声が聞こえてきそうです。



子どもの部 優秀賞
「本立て付き鉛筆立て」
オ川 和希さん（津別町）
単純な構造ですが、機能的に作られています。実用的で、子ども部屋にピッタリです。地元材のセンとニレの木を利用しているのも見逃せません。



大人の部 優秀賞
「小さな水族館」
（ペン立てと小物入れ）
饗庭 弘治さん（奈良県平群町）
小物入れは、磁石を利用して上部の魚が引き出しの動きに合わせて動き、凝った作品となっています。ペン立ては、アクセントの魚たちがバネでかわいい動きをみせ、2つとももしろい工夫が施されています。



子どもの部 審査員特別賞
「しんがねのおきもの」
中橋 美里さん（津別町）

細かい作業よく頑張ったと思います。木の実などを上手に工夫してコンパクトによくまとまっています。



大人の部 審査員特別賞
「五角アニマル観覧車」
代永 研さん（小樽市）
非常に凝った作品です。商品としてもいいと思います。動物たちも楽しそうです。

～環境にやさしく 資源を有効活用～ ペレットストーブを 設置しました！

温暖化防止対策や資源の有効活用などで注目されてきているペレットストーブが役場庁舎のロビーとあいおい物産館に設置されました。

町では「バイオマスタウン構想」に基づき、町有林などからでる未利用残材の循環活用に取り組み、来年度にペレットを生産する工場の建設を予定しています。完成するとペレット燃料の安定的な供給が期待できます。

燃料となるペレットは、間伐材などを粉状にして水分を取り除き、圧縮して粒状に固めたもので、手を汚すことなく取り扱いはとても簡単です。また、燃料を燃やした際に出る二酸化炭素を削減し、環境にやさしい自然エネルギーとして期待されています。



冬の間使用していますので、是非実物をご覧ください。

第5次津別町総合計画策定審議会 町の将来像・解決すべき課題など討議結果発表

11月10日の第5回津別町総合計画策定審議会は、部会討議でまとめた「津別の将来像」と「解決すべき課題」について、8部会から発表され、その後、松本策定委員会政策調査員（北海道地域総合研究所コミュニティアドバイザー）から講評を受け、意見交換を行った。原田会長より、「今日の発表会と全体での意見交換を通じ、町の課題と解決方法を議論するための材料と基本構想の柱を絞りこんで行きたい」と挨拶。以下、各部会発表の特徴的な内容と「めざす将来像」の概要を報告します。

【生活部会】発表：山内彬委員・水上隆委員・山田耕司委員・蓮井和一部会長

強く、たくましく、まじまじの暮らしを基本に、「特産品の開発」「自然環境を活かした観光のまち」「エコのまち」「おいしい水の利用」「子供達の伸び伸び出来る元気なまち」の5本の柱にまとめられた。特に、町の優れた企業の技術力や産学官の連携による地産地消を推し進め、特産品の開発と雇用の拡大が訴えられた。また、今回の討議を通じ、業種や年代を越えて何でも話が出来ると仲間づくりや人づくりが必要だと痛感した。計画の柱の一つになることを期待すると報告された。



【保健福祉部会】発表：山内浩子部会長
何をやるにしても、まず「過疎を恐れ

【本岐方面部会】発表：長野三恵子委員

資源や潜在力は、子どもを育てる教育環境にも優れている。特色ある学校づくりや廃校になった学校の有効活用、昔の人の知恵を活かし、郷土の文化や名人・技師の発掘など津別町の文化を伝承。町をつくり興していくことは、よそ者・若者・馬鹿者の力が必要。私たち住民は、馬鹿者になるべき。木については、深く突っ込み可能性を追求していくべき。「町民が安心、安全に豊かな暮らしができることが一番」が結論。過疎に立ち向かいピンチをチャンスになる知恵と、この町を何とかしたいという私達の思いで、活気のある住み良い町にしたいとまとめられた。

【相生方面部会】発表：鍛冶博光委員・勝谷博夫委員・斉藤光雄委員

資源が豊富で潜在力もある。空き家も山ほどある。相生の一番の課題は、相生小学校を活かすこと。受け皿として、STEMづくりが重要。また、我が町は、北見と美幌と相生からの入り口出口の条件を活かした商業戦略、地域情報化に必要な情報を発信し入手できるシステム整備、まちづくりに欠かせないNPO設立支援等の課題があげられた。「高齢者と若い人が平和で共存できる住み良いまち」「働く場所のあるまち」「互いに助け合おうまち」「住民参加型のまち」「ゆつくりとしたまち」「子どもの笑い声が聞こえるまち」「こころ休まるまち」「歩いて暮らせるまち」「ドーナツ型では

ない」気持ちと我が町の豊かな自然や資源というものを明るく、自信を持って、前向きに感じ取り進む姿勢が大切であることが訴えられた。この考え方を基本に、「農業を大切にすまち」「元気な商店街のまち」「売り上手なまち」「安心して暮らせるまち」「子どもの元気な声が聞こえるまち」「明るく元気で互いに協力できるまち」の6本の柱に沿ってその課題が報告され、最後に、「具体策の実現により、皆さんとともに誇りに思う故郷をつくりましょつ」とまとめられた。

【教育部会】発表：竹中博人部会長

優れた資源と潜在力を活かし、「自然を守り、自然を活かした美しいまち」「林業・農業の振興を図り暮らしやすい豊かなまち」「町の施設を有効利用し健康に暮らせるまち」「津別町の環境を活かし、職業人を育て教育を進めるまち」の4本の柱に基づき、5つの課題「観光施設や町並みを整備して魅力ある町にする」「産業を振興して豊かな町にする」「施設の有効利用を図り暮らしやすい町にしていく」「人的資源を活かして生き

なく中心型のまち」の9つのを津別に望むとまとめられた。



【講評】コーディネーター・松本 収
策定委員会政策調査員

まず、自信を持つていることと、困っていることが出ている印象を持った。元気な高齢者や活発な女性達、頑張っている若者がいる。チミケツ湖や津別峠や素晴らしい自然景観、美味しい水、素晴らしい農畜産物と、この町はとっても素晴らしい。一方で、町が暗い。町に活気が無い。中心部が整っていない。そして空き店舗が多い。若者の働く場が少ない。高齢者や女性の交流する場が少ない。情報の発信が少ない。本当に皆さんは良く町を見て考えている。提案だけではなく、決意も伺えた。小さな町、程良い町の大きさだからこそ協力し合いやって行ける町。過疎を恐れず誇りを持ってふるさとを何

がいのある町にする」「環境を活かした教育の推進」が整理され、一人ひとりの関わりで、豊かな暮らしのできるまちづくりを進めたいと報告された。

【住民活動部会】発表：荒川博明部会長

「自然景観の環境に恵まれている」ことを活かし、「住民が安心・安全に暮らせるまち」を目指し、「地場産業の推進による地産地消の普及など若者が住み着く町づくり」を求めて行きたい。「チミケツ湖や津別峠の景観等の魅力を全国に発信」「特産物の地産地消の推進と各分野のチャレンジと業種間交流による商品開発や販売方法の工夫で商店街の活性化方策の検討」「スポーツ合宿の戦略的な見直し」「若者が津別に定住できる方策や仲間が集える中心街づくりに向けた空き店舗利用」「財政収支の均衡と財政力向上による自主自立のまちづくりの展望」などの課題が報告された。

【産業部会】発表：中島浩一部会長

資源・素材を最大限活用し、産業に付加価値を付け、体験・観光・交流を総合的に取り組む「エコ・ツーリズム」による、自然と観光と交流を柱とした「観光から交流へ、交流から定住へ」を目指す。また、高齢化が進行する中で福祉施設等の充実を図り、近隣市町村からの高齢者移住による「福祉の村」を目指し、人口の増・家族等の来町機会の増加、さらに、介護等に必要な就業の場の拡大が図られるのでは。そして、若者の交流の場の充実や情報の発信、企業誘致、津別高校の特色ある科目創設など、若者が住み続けられる町づくりを望む。いずれも、人・

とかしたいとか、高齢化率が高いことに恐れないで、元気で明るい気持ちで進みたい。

問題は、誰がやるのかということ。役場がやるのではなく、今日お集まりの皆さんが、自分ならこれならできるといふことの担い手になること。これが、「町は舞台、町民が主役」ということの本当の意味。皆さん一人ひとりが、新しいアイデアを出して、いろんなことにチャレンジしていくこと。

これからのことについて提起します。一つは、これから始める作業は、10年後の津別をどんな津別にするかを絞り込んでいくことで、あれもこれもという事にはならない。10年後の姿をまとめていく作業を皆さんが行うということ。二つ目は、個々の具体的な事業について、プロジェクトを作って取り組んでいくことで、皆さんがチームリーダーとなって世代間の交流になるチームで仕組みづくりを行うことです。三つ目は、今日のこの場のように普段から情報が集まり、そこに行けばいろんな情報が手に入る場所を皆さんの手で中心街に10年後の津別を作るためのセンターの立ち上げを是非構想していただきたい。

最後に、10年間意志を持続させ丁寧に行うことは、難しいこと。本当に歯を食いしばって10年後に形とするには、仲間を作ること。テーマに沿って仲間を作り、具体的な問題を一つひとつ処理していく仕組みを作れば、必ずや、目指すものが実現していくのではない

自然・物・産業などの資源を連携させたストーリーが大切。住み続けたい・住んでみたい・行ってみたい・寄ってみたい・帰ってみたい町づくりを目指すと報告された。

【活況方面部会】発表：松平範慶委員



「オホーツク圏で、自然体験、地元の人との交流を満喫できる愛林の町つべつ」ということに行き着いた。「見るつべつ」「1200年のミスナラ。これは平安時代からあるもの。チミケツ湖は秘境の秘境でヒメマスの原産湖。津別峠は360度の展望。最上の桂の巨木と一町分池も見所。東岡の自然景観の素晴らしい。」体験するつべつ「農村体験・自然体験・釣り・クワカタ取り・木登り・雪かき体験など」「食するつべつ」地域の食材の有効利用。有機農法野菜やオーガニック牛乳やチーズ、地場産加工品の開発など津別の美味しいものを売りに。

か。小さな町だからこそやれることがいっぱいあるという前向きな姿勢が心強く思った。

【主な意見交換の内容】

その1 商店街の活性化に向けて津別の自然を売り物とした空き店舗の有効利用につなげてはどうか。
その2 痛切に商工会は気持ちを入れ替えなければと感じた。秋祭りでは、自分の作品を並べるなどいろんなことの出来る人が津別にはいる。空き店舗の利活用は可能と考える。
その3 冬場の健康づくりに向け、Kニットの後を活用できないか。ペレットストーブを置くなど効果的な展示にもなる。

その4 子ども達に津別の町を愛してもらわなければならない。そのための教育をどうするかを考えて取り組んでいくべきと思っつ。
その5 物事を好きになるといふことは、感性だと思っ。触れさすことが大事。体験の出来る場があるが、危険、誰が責任を取る、ということから周りの環境が子ども達を寄せ付けないでいる。などの意見が出されました。

【次回の第6回策定審議会について】

日時 12月17日(水曜日)18時30分、場所 津別町中央公民館

公開開催の策定審議会です。町民皆様の多数のこ来場をお待ちしています。なお、これらの計画づくりの概要などは、引き続き広報や町のホームページに掲載していくこととしています。

**まちづくりの功績に感謝
功労者・善行者を表彰**

11月3日、中央公民館において町の発展や文化の振興などに功績のあった方々を表彰する功労者表彰式が行われました。
今年も自治、福祉、産業開発、消防、善行、文化の分野で功績のあった11氏、1法人です。(受賞者は広報11月号で紹介しています)

町の功労者には佐藤多一町長から、文化奨励賞の受賞者には布瀬勝明教育委員長から一人ずつ表彰状と記念品が授与されました。受賞者を代表して産業開発功労者の中田武さんが「これからもより一層地域社会に貢献し、豊かなまちづくりに尽くしていきたい」と謝辞を述べました。受賞されたみなさん、おめでとうございます。



**町民文化祭で日頃の成果を披露
多彩な展示や芸能で楽しむ**

今年も11月の1ヶ月間にわたり、趣味や文化活動に取り組み町民の人たちが、日頃の成果を披露する「町民文化祭」が開催されました。中央公民館を会場に、絵画展から始まり、11月9日には舞台発表が行なわれ、この日に向け練習してきた踊りや歌、太鼓などが披露されました。それぞれの演技や演奏に、会場からは大きな拍手が送られていました。また、28日から30日までは各種団体・サークルによる書道、アートフラワー、短歌、俳句、紙粘土などの総合展示が行われました。



**料理とゲームで絆を深める
青葉幼稚園児と津別高校生が交流**

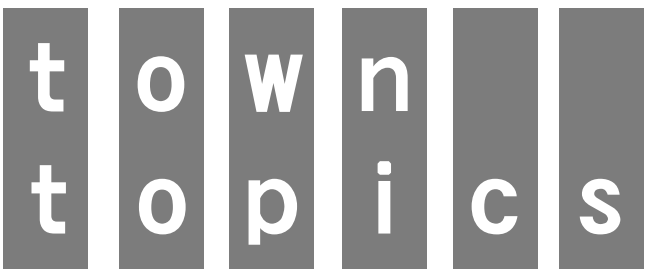
10月28日と31日の2日間、津別高校2年生が小さい子どもを観察し理解する授業の一環として青葉幼稚園児と交流を行いました。

28日には青葉幼稚園の年中・年長の園児31人と2年B組の生徒27人がチョコレートやイチゴジャム、ツナなどはさんだサンドイッチを作りました。

31日には園児たちと2年A組の生徒26人が体育館で助け合い人間大根抜きゲームなど体を動かした遊びで交流を行い、園児と一緒に汗をかきながら、子どもたちの元気のよさを感じていました。



まちのわだい



**小学生が枝打ちと植樹を体験
緑のボランティア事業**

10月25日、津別げんきの森利用推進実行委員会の緑のボランティア事業で枝打ちと植樹が行なわれました。

この事業は、緑の緑化思想の普及を目的に国土緑化推進事業とローソンの募金から資金援助を受けています。

緑の少年団を中心とする町内の小学生35人と保護者が達美の苗畑で20年前後のアカエゾマツの枝打ちを体験。枝打ちの必要性や切り方を教わりながら1本ずつ慎重に切っていました。



終了後は21世紀の森へ移動し、網走東部森づくりセンターの指導員から説明を受けて公園内の「げんきの森」にミズナとカシワの苗木を植樹しました。

**11月13日、網走税務署の木所正
明所長が津別小学校を訪れ、竹中
博人校長に租税教育の取り組みに
対する感謝を表す記念の盾を贈り
ました。津別小学校では平成16年
から4年連続して税務署員を招い
て税に関する授業を行っていて、
税の役割や納税に対する正しい知
識の普及への取り組みが評価され
たものです。**

授業の中では、ビデオを視聴しながら6年生を対象に税金の使い道や税に関連したクイズなどを取り入れるなど、分かりやすい授業を行ってきています。小学校では今後も授業の中で取り入れていきたいと話していました。



**クイズも活用し「税」を勉強
租税教育の取り組みに感謝状**

**元気がかわいい笑顔がたくさん
青葉幼稚園児のボランティア**



11月11日、青葉幼稚園空クラスの年長児14人がちびっこボランティアとしてデイサービスを訪れました。園児たちはきらきら発表会で行った「ふじの山」や「崖の上のポニョ」をいちいの園の入園者やデイサービスの利用者たちに元気いっぱい披露し、お年寄りのみなさんは、かわいいお遊戯や歌のプレゼントに笑顔で応えていました。その後、園児たちは「ずっと笑って元気できてね」と声をかけ、一人ひとりと握手をして回り、お年寄りの中には感激して涙を流す人もいました。

誰もがかかる心の病

川村敏明医師がアドバイス



北見地方精神保健協会主催による「心の健康」講演会が11月14日、中央公民館で開かれ、浦河赤十字病院精神神経科部長の川村敏明氏が「うつ」についての風邪なの?と題して講演を行いました。

誰もがかかると言われる心の病について、地域社会の関わり方、自己表現することの大切さなど、症例を交えながら講演されました。会場には町内はじめ近隣市町の福祉や保健医療に携わる方など150人ほどが集まり、身近なこととして真剣な表情で聞き入っていました。

**「食」について知識を深める
第7回食農感謝の集い開催**

11月2日、町民会館にて第7回食農感謝の集い(つべつ健康生活ネットワークポテチ会主催)が行われ、約30人の町民が食の安全性などについて講演を受け、試食体験を行いました。
講演では、微生物応用技術研究所の清水幸一さんを講師に招き、「地産地消と豊かな生活」をテーマに、各地域の地質の違いによる食文化の違いや、これからの農業の進め方などについて話をされました。試食体験ではジャガイモの塩煮やニンジンジャムパン、タマネギのスープ煮や大根の酢漬けなど無農薬・無添加の食材を味わいました。



気持はずっとサッカー少年です！

濱端 紀行 さん



はまはた のりゆき さん / 昭和60年5月生まれ / 津別タイヤ工業に勤務 / 共和

青春

くる-ずあつぷ

今回、お話を伺ったのは津別タイヤ工業に勤める濱端さん。この時期は冬タイヤへの交換に訪れる人が多く毎日忙しく働いているそうです。

濱端さんは津別中学校卒業後、旭川実業高校自動車科に進学。その後旭川で3年間タイヤ関係の仕事を経験し、昨年4月に津別に戻ってきました。

現在の仕事は、タイヤの販売や修理、オイル交換などを担当。家業を継いで思った理由を聞くと、「小さい頃から車に関わって育ってきたので考えたことなかったですね」(笑)

と話します。

趣味はサッカーで、毎週火曜日には所属する津別のフットサルチーム「津別FC」の一員として練習に励んでいます。津別FCは網走地区のフットサルリーグに所属しており、2部まであるリーグの中で常に1部リーグの上位に位置していて、サッカーのフォワードにあたるトップとしてチームに貢献しています。

濱端さんの夢を聞くと、「スペインの本場のサッカーを生で観てみたいですね」と笑顔で話していただきました。

温故知新

【368】

日記に刻まれた人生

柏葉 雄一 さん



かしば ゆういち さん / 大正14年8月、津別町布川で生まれる / 83歳 / 布川在住

「昔は、畑での収穫が終わると冬の間は山で働いていた。マップの山や陸別の町界まで行ったね」と話す柏葉さん。布川の農家に生まれ、一時期は本岐や相生の学校にも通って子どもを育てた。昭和25年に結婚した後、10年近く続けた山仕事。まだ暗くはれる夜明け前から山に向い、馬が引く「バチソリ」に切り出した木材を積み込む。坂のある道路は避けて、川沿いにつけた雪道を、毎日日本岐の駅まで運ぶ。戻る頃にはすっかり暗く、若い頃はスルしてサボったこともある。休みは正月

くらいだった」と笑いながら話す。畑は馬で耕し、小麦、芋などを作っていたが、トラクターが入り段々と畑も良くなると大豆などを収穫してきた。野菜を作るかたわら数頭の牛を飼い、搾乳を始めたのは昭和32年頃で、雪深い日、橋を渡り輸送缶を国道まで運ぶのが一仕事だったね」と、当時を思い出す。その後は酪農に専念し、今では子牛を含め70頭ほどを飼育し、子どもや孫たちがしっかりと牛たちの面倒をみてくれる。畑作、山仕事、酪農と半世紀近く共に生活を支え続けてくれた妻の光枝さんを11年前に亡くしたが「収穫時期に研修などで出かけることもよくあり、女房一人で大豆の収穫などをやってもらった」と話す。それでも家族に牛の世話を任せられるようになると、幾度となく夫婦揃って国内、海外へと旅行に出かけたそうだ。部屋には旅先で買ったキーホルダーなどが数多く飾られ、横には最後となった夫婦旅行の記念写真が掛けられていた。苦労かけたからね、思いを込めた一言が印象的だった。

「趣味はない」と話す柏葉さんだが、16歳から書き始めた日記を今も続けていて、恥ずかしそうに見せてくれた。その日の出来事を書き綴り、もつ数十冊に上る。長い歳月で苦楽が凝縮した日記の中に、今日も新たなページが加わる。

健康いきいき

ノロウイルスの季節になりました！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は11〜12月が流行期で、春頃まで発生が続きます。

ノロウイルスは生や調理不十分なカキ、その他の二枚貝による食中毒というイメージが強いのですが、貝を食べない赤ちゃんにも発生する病気です。

どうやって感染するの？

ウイルスが口から入ることで感染します。ウイルスは汚染された食べ物だけではなく、手や指を介して口に入ります。ノロウイルスは非常に感染力が強く、トイレのドアノブについた少量のウイルスが手から口に入っても発病します。また、乾いたホコリにウイルスが紛れて飛び散り、口に入ることもあります。

感染から身を守るには？

やはり、手洗いが重要です。石鹸で手指や手首を洗い、流水で十分にすすぎ、きれいに手を拭きます。タオルを他の人と共用するのは避けた方が良いでしょう。最低限、次の時には手をしっかりと洗いましょ。



・外から帰った時

・調理の前

・食事やおやつの前(手洗いせず、手づかみで食べるのは危険です！)

・トイレの後

・吐物や便の処理をした後



カキなどの貝類を食べる場合は、中心部まで充分加熱してから食べましょう。

もし感染したら？

症状は、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱です。症状は1〜2日で治まります。子どもは嘔吐、大人は下痢が多いと言われています。症状が治まっても2〜3週間は便の中にウイルスが排泄されているので、注意が必要です。

子どもやお年寄りは、下痢や嘔吐で脱水症を起こしやすいので、水分補給が大事です。水分がとれず顔につやがない、おしっこが出ない、顔色が悪い、お腹がシワシワになる、意識がもうろうとしているなどの症状があれば、急いで医療機関を受診して下さい。

暮らしを支える

税

12月は道税の滞納処分強化月間です

網走支庁では10月、12月、3月の各月を「滞納処分強化月間」として道税の滞納整理に取り組んでいます。

12月は、特に自動車税、個人事業税及び不動産取得税などの道税全てについて滞納整理を進めることとしており、給与・預貯金などの差押えを行います。

また、納税がお済みでない方は大至急納税してください。

納税の相談は、網走支庁税務課納税相談窓口へお願いします。納税には、手続きが簡単で便利な口座振替が利用できます。

問い合わせ先

網走支庁税務課納税係
☎ 0152 41 0616
(直通)



支庁税務課ホームページ
<http://www.abashiri.pref.hokkaido.lg.jp/ts/zim>

道税ホームページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim>

お知らせ

information インフォメーション

まちづくりに対する疑問、ご意見を
お寄せください。
地域振興グループ ☎ 76 - 2151
FAX 76 - 2976

むし歯ゼロのお友だちを
紹介します

10月21日(火)実施分の3
歳児健診のむし歯ゼロのお友
だちを紹介します。

石原 裕羽くん (相生)
笠原 佑梨奈ちゃん(岩富)
小泉 倫聖くん (達美)
富永 真衣ちゃん(豊永)
成戸 奏太くん (豊永)
原田 比呂くん (共和)
問い合わせ先 役場健康推進
グループ ☎76-2151

年末年始町営バスの 運行について

相生線・開成線

- 12月29日まで平常運行
- 1月1日は全便運休
- 12月30日、31日、1月2日か
ら4日までは、次の便が運
行します。

【相生 津別 北見】

相生発北見行 午前8時50分
(津別発は、午前9時30分)
相生発北見行 午後0時
(津別発は、午後0時35分)
津別発北見行 午後3時50分
相生発北見行 午後5時
(津別発は、午後5時40分)
【北見 津別 相生】
津別発相生行 午前8時12分
北見発津別行 午前11時50分
北見発相生行 午後1時30分
(津別発は、午後2時25分)
北見発相生行 午後4時55分
(津別発は、午後5時50分)
北見発津別行 午後6時45分
1月5日から平常運行します。

二又線・上里線

- 12月29日まで平常運行
- 12月30日から1月4日ま
で全便運休します。

冬の暴力追放運動が始ま
ります

まもなく冬の暴力追放運動
が展開されます。
北海道から暴力を追放し、
明るく住みよい郷土をみなさ
んでつくりましょう。

実施期間 12月15日(月)
～1月14日(水)

運動の重点目標
・暴力団の違法な資金源活動
の実態の周知と被害の防止
(振り込め詐欺、サラ金・携帯
電話使用料などの架空請求)
・少年に対する暴力団の影響
排除と環境の浄化

問い合わせ先
役場住民活動グループ
☎76 2151内線216

特設なんでも相談所をこ
利用下さい

人権擁護委員制度の普及の
一環として、特設なんでも相
談所を開設します。
人権擁護委員は、離婚相談
など家庭内の問題や、隣近所
とのもめごとなど、幅広い内
容について、地域住民からの
相談に応じしています。
相談は無料です。内容につ

いても秘密は守られますので、
お気軽にご相談ください。

日時 12月9日(火)
午後1時～午後4時

会場 林業研修会館
相談員 細川サチ子・修田建恵
(津別町の人権擁護委員)

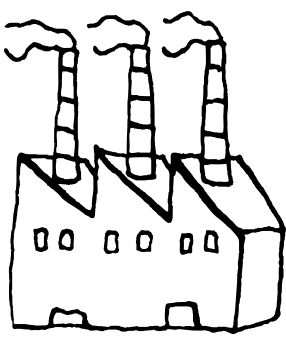
問い合わせ先
役場住民活動グループ
☎76 2151内線216

製造事業者の皆様へ
統計調査にご協力ください

平成20年工業統計調査(製
造事業所の実態を調査)を12
月31日現在で実施します。
事業所には、12月から1月
にかけて調査員がお伺いする
予定です。

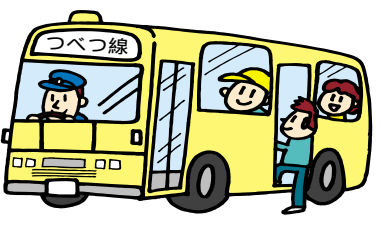
なお、調査票に記入してい
ただいた内容については、統
計法に基づき秘密が厳守され
ますので、正確なご記入をお
願いします。

問い合わせ先 役場統計担当
☎76 2151内線243



1月5日からは平常運行
します。

問い合わせ先
役場道路車両グループ町営バス
担当 ☎76-2151内線251



北海道地球温暖化防止活動推
進員の紹介と活用をお願い
しています。

制度の概要

北海道では、地球温暖化の
現状や対策への理解を深めて
いただき、温暖化対策を促進
するため、地域で活動する
「北海道地球温暖化防止活動推
進員制度」を設けています。
活動推進員は北海道知事の
委嘱を受け、町内会や各種団
体からの依頼により、研修・
セミナー等の講師として活動
しています。

網走支庁管内の推進員
青田昌秋、辻悦郎、松山美
江子、秋山恵美子
経費
講師謝金、旅費は、北海道

12月は、国民健康保険税 第7期 町道民税 第4期の納付月です

納期限は 1月5日(月)

口座振替をご利用の方は預金口座の残高を確認して
ください。

問い合わせ先 ☎76-2151 税務担当(内線220・221)
収納担当(内線218)

が負担します。
派遣申請・問い合わせ先
網走支庁地域振興部環境生
活課主査(地域環境)
☎0152-41-0628

歳末助け合い募金に ご協力ください!

今年も「道民歳末たすけあ
い運動」が全道一斉に実施さ
れます。この運動は、560万人
の道民が、新しい年を温かい
心で迎えられるようにと、毎年
行われています。

津別町でも、12月1日から25日までの期間、この
運動を実施します。寄せられた募金は、障がいを持
つ人や介護の必要な人に対する歳末支援金などと
して役立てられています。

自治会を通じて、町民の皆さんにご協力を呼び
掛けますので、よろしくお願いたします。1世
帯当たり350円の目標でご協力ください。

問い合わせ先 北海道共同募金会津別町分会
(事務局：津別町社会福祉協議会 ☎76-1161)

北海道心身障害者総合相談所 による巡回相談について

平成21年1月20日に北見市保健センター、1月
21日に網走市総合福祉センターで巡回相談が行われ
ます。希望される方は、12月4日(木)までに役場
の福祉担当までご連絡下さい。

相談対象者

- ・18歳以上の身体障害者で電動
車椅子等の直接判定を要する
補装具の交付を希望するもの
- ・18歳以上の知的障害者で療育手帳の新規又は再
判定を希望するもの
- ・その他、専門的判定を必要とするもの

問い合わせ先
役場 保健福祉課介護福祉グループ福祉担当
☎76-2151 内線233

地域安全ニュース

美幌と津別の防犯協会と美幌警察署からの情報を掲載しています。
内容については各防犯協会または警察署にお問い合わせください。

車上狙い事件発生!
美幌警察署管内において車上狙いが
発生しています。車の窓ガラスが割ら
れ、バッグなどが盗まれています。車
から離れるときは、車内に現金やカバ
ンなどを置かないようにしましょう。
人気のない駐車場、長時間の駐車の際にはくれぐれも
ご用心。

振り込め詐欺事件に注意!
さまざまな手口を使って現金を送金させる詐欺事件
や未遂事件が発生しています。被害者は幅広い年代に
わたっています。
万一、ATM(現金自動預払機)や郵便局のエク
スバックなどで現金を送金させる電話があった場合は、
詐欺を疑ってください。

交通安全情報

タイヤの点検は お済みですか?

住民活動
グループ
☎76-2151

「雪」の季節となりました。
この季節は、道路状況が一
変し、冬型の交通事故が多
発する時期です。
冬道の準備としてまず挙
げられるのは、冬タイヤの
点検です。擦り減つていた
り、ゴムが硬化している等
で使用限界がきているタイ
ヤでの走行は事故につなが
る原因となります。早めに
取り替えましょう。
また、「良好な視界の確保」
も重要です。窓ガラスが凍
りついたままで走行してい
る車を見かけることがあり
ますが、これは自分ばかり
ではなく周りの人にも危険
を振りまいているのです。
路面状況・天候の変化に
合わせた安全運転が事故を
未然に防ぐ最良の対策とな
ります。
歩行者も、車を運転する
人もみんなで冬道の交通安
全に努めましょう。

認知症を考える講演会

～認知症の人と家族を地域で支えよう～

高齢社会の到来とともに、介護を必要とする高齢者の方が増えています。体が不自由になっても、たとえ認知症になっても、住み慣れた町で過ごしたいと誰もが思っています。介護が必要な認知症高齢者の方やその家族を地域でどう支えていけるのか、この講演会を通して一緒に考えてみませんか。



とき 12月11日(木)午後6時30分～

ところ 津別町林業研修会館(役場裏)

参加無料

講師 木村 美和子 氏

北星学園大卒。社会福祉士、介護福祉士、ケアマネ。保育所、児童養護施設、特養等勤務を経て、H12年12月NPO在宅生活支援サービスホーム花風を設立。高齢者下宿や訪問介護、通所介護、移送サービス、宅老・託児、保険外ショートステイ、「ばりあふりーしょっぷ」「バリアフリー居酒屋」などを展開している。

連絡先 津別町地域包括支援センター ☎76-2158

離乳食教室に参加しませんか？

生後4～7ヶ月児の保護者を対象にした離乳食(初期、中期)の教室を開催します。

この教室では、講話(離乳食のポイント、進め方など)、調理実習(初期、中期)、試食などを予定しています。保健師の育児相談も合わせて行います。お気軽に参加してください。



日時 12月3日(水)10:00～12:30

場所 町民会館 調理室、和室

持ち物 エプロン、三角巾、手ふきタオル、離乳食ガイドブック、母子手帳

参加費 無料です。(当日は託児あります)

申し込み 11月27日(木)まで

HP等では2日とお知らせしましたが3日に変更になりました。

申し込み・問い合わせ先

役場保健福祉課健康医療グループ・栄養士 ☎76-2151

自動車の登録手続きはお済みですか？

北見運輸支局では、自動車登録の適正化を推進するため車をお持ちの皆様へ啓発運動を行っております。つきまして次の場合には自動車の登録手続き等が必要になります。



- ・住所や名前が変わったとき
- ・車を売ったり、買ったりしたとき
- ・車を使用しなくなったとき
- ・ナンバープレートを紛失や破損したとき
- ・北見以外のナンバープレートで使用しているとき
- ・ローンの支払いが終わったとき
- ・車検証やステッカーを紛失、破損したとき
- ・後ろのナンバープレートに封印が付いていないとき

なお、詳細については、車検証をお手元に用意してから、下記へお問い合わせください。
北海道運輸局北見運輸支局 登録担当
北見市三輪23番地の2
☎050-5540-2007

長寿医療(後期高齢者医療)保険料の納め忘れはありませんか？

年金から保険料が引かれていない方は、保険料決定通知書に付いている納付書で納めてください

今年4月以降に75歳になった方は、今年度の保険料は年金から引かれません。

また、特別軽減措置により保険料が減額となり、納める保険料のある方で、8月に保険料額変更決定通知書が届いた方も、9月以降の保険料は年金から引かれません。(年間保険料が12,900円から6,300円に減額された方で、年金から保険料が引かれていた方は、9月以降納める保険料はありません。)

お手元の保険料決定通知書を今一度ご確認ください
問い合わせ先

役場保健福祉課健康医療グループ 後期高齢者医療担当 ☎76-2151 内線228・229

成人式は1月11日に行います

対象者 1988(昭和63)年4月2日生まれ～1989(平成元)年4月1日生まれの方
日時 平成21年1月11日(日)
受付 午後1時 開式 午後1時30分
場所 津別町中央公民館 講堂
申込先 10月末現在で町内に住民票のない方のみ必要です。

【12月12日(金)までに中央公民館社会教育課へ申し込みください。】



問い合わせ先 中央公民館社会教育課 ☎76-2713

「つべつ木育ランド」を開催

たくさんのお木製遊具で自由に遊ぶことが出来ます。また、木を使った簡単なルームプレート作りも行います。入場は無料です。小さなお子さん連れで、ぜひお越しください。

日時 12月20日(土) 午前10時～午後5時
12月21日(日) 午前10時～午後4時

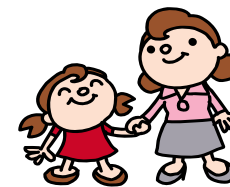
場所 中央公民館

入場料 無料

問い合わせ先

役場林政担当

☎76-2151 内線259



歳末火災防止特別警戒運動

12月22日(月)～12月31日(水)

年の瀬が近づくこの時期は、毎年焼死者を伴う火災が多く発生しています。

消防署では12月22日から31日まで防火呼び掛け、町内巡視等の歳末火災防止特別警戒運動を実施します。

火災のない明るい新年を迎えられますよう、防火のチェックを今一度お願いします。

全国统一標語

「火のしまつ 君がなくて 誰がする」

問い合わせ先 津別消防署 ☎76-2189

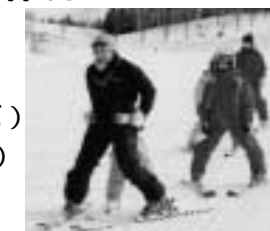
少年少女スケート教室に参加しよう！

対象者 初心者及びスケートリンクを1周することができない小学生
日時 平成21年1月7日～1月9日(3日間)
午前10時00分～午前11時30分
場所 津別小学校スケートリンク
参加料 保険料500円
締切日 12月25日(木)まで
申込先 中央公民館社会教育課 ☎76-2713

川端絵美のジュニアスキー講習会開催！

日時 1月10日(土)の1日間
午前9時 現地集合
場所 共和町民スキー場
(ゲレンデ状況により場所の変更があります)
対象 町内小学校4年生以上中学生まで
・一人で滑ることができること
・自分の行動に責任が持てること

定員 30名(先着順)
参加料 1,500円
(昼食および保険料など)
申し込み 12月25日(木)
問い合わせ先
中央公民館社会教育課
☎76-2713



今年1月に行われたジュニアスキー講習会

共和町民スキー場の利用について

1:利用期間 1月5日～3月11日
気象状況などにより変更する場合があります。
2:利用時間(ロープトウ運行時間)

1月5日～1月19日 (冬休み期間中、下側ロープトウのみ運行)	10:00～16:00
1月20日からの平日 (月曜～金曜日)	15:00～19:00
土曜・日曜・祝祭日	10:00～16:00

お互い譲り合い、楽しく利用しましょう！

・スキー連盟などの夜間事業が行われる日は午後9時まで運行します。
(利用者の方は時間を厳守願います)
問い合わせ先 中央公民館社会教育課 ☎76-2713

年金三二知識

問い合わせ 戸籍・年金担当
☎ 76 - 2151 内線 222

老齢基礎年金の繰上げ、繰り下げ請求

老齢基礎年金は先月号で書いたとおり、65歳からの支給が基本です。それ以外はだめかといいますが、そうではありません。実は繰上げ請求をすると60歳からでも受けることができます。また繰下げ請求といって66歳以降70歳までの間でも受けることが可能です。

ただし、繰上げ請求では65歳に比べて支給額が少なくなります。例えば60歳の誕生日から年金を受けると、65歳を100とした場合の70%の額しか支給できません。しかも減額された年金が一生続きます。

繰下げ請求は、支給を遅らせる分、逆に高くなります。満70歳で支給開始した場合、65歳を100としたときの142%になります。こちらは増額された年金が一生続きます。

請求手続きは、加入履歴が国民年金のみの方は町に、厚生年金の履歴がある人は社会保険事務所です。

緑永福祉寮寮母を募集します

募集人員 寮母 1人

応募資格 ・平成21年4月1日から福祉寮に居住可能な夫婦世帯であること
・夫は福祉寮の外構や菜園の管理、除雪業務等が可能な方（他の業務と可能な範囲で兼務可能）



年齢 55歳までの方

勤務場所 津別町字緑町2番地17 津別町老人福祉寮「緑永福祉寮」

勤務内容 ・福祉寮の管理に関すること
・施設内の清掃等環境保全、火気の安全に関すること
・入寮者の寮生活に関すること
・その他町の指示に従うこととすること

勤務形態 寮母の勤務形態は、「寮・日課表」等に基づくほか「町」が指示します。

待遇 社会保険加入、休日（毎週2回及び国民の祝日に関する法律に規定する日の日数）有給休暇制度あり

賃金 津別町の定めるところによります。

応募方法 ①提出書類 履歴書（市販のもので可）
②提出先 役場 保健福祉課介護福祉グループ（福祉担当）
③提出期限 平成20年12月15日（月）まで持参提出してください。

問い合わせ先

役場 保健福祉課介護福祉グループ福祉担当
☎ 76 - 2151 内線 299

川端絵美さんと滑る親子スキー教室

日時 1月11日（日）午前9時30分集合
場所 共和町民スキー場
参加料 1,000円（保険料・昼食代含む）
定員 親子20組（先着順）
申し込み・問い合わせ先 12月19日（金）まで
中央公民館社会教育課 ☎ 76 - 2713

パークゴルフシーズン券ホルダーと すいむカードの返却をお願いします

パークゴルフシーズン券ホルダーを回収していますので、お持ちの方は中央公民館まで返却をお願いします。また、すいむカードも回収していますので、返却していない方は中央公民館までお願いします。
問い合わせ先 中央公民館社会教育課 ☎ 76 - 2713

年末年始の各病院の診療日



病院名	29日(月)	30日(火)	31日(水)	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)
美幌 工藤医院 ☎73-3356	○	×	×	×	×	×	×	○
美幌 田中医院 ☎73-2913	○	○	×	×	×	×	当番	○
美幌 田島医院 ☎72-5222	○	○	×	×	×	×	×	○
美幌 玉川医院 ☎75-2780	×	×	×	×	×	当番	×	×
美幌クリニック ☎72-1335	○	×	×	×	×	×	×	○
美幌 国保病院 ☎73-4111	○	○	×	×	×	×	×	×
美幌 平間医院 ☎72-1881	○	×	×	×	×	×	×	○
みやざわクリニック ☎75-0800	○	×	当番	×	×	×	×	○
女満別中央病院 ☎74-2181	○	△	×	×	×	×	×	○
津別病院 ☎76-2121	○	△	×	当番	×	×	×	○
美幌療育病院 ☎73-3145	×	×	×	×	×	×	×	×
びほろ耳鼻咽喉科 ☎73-3900	△	×	×	×	当番	×	×	○
東藻琴国保診療所 ☎66-2611	○	○	×	×	×	×	×	×

「○」は1日診療（平常診療） 「△」は午前中診療、「×」は休診、「当番」は休日当番病院、「急」は急患受付

e-Taxをはじめよう!

国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」から!!

利用開始までのステップ
「確定申告書作成コーナー」を活用して利用開始!

準備しよう
電子証明書とICカードリーダーの取得
各種申請書や届出書のダウンロード
パソコンの準備
ソフトのインストール

登録しよう
申請や届出をしなくても、オンラインで届出できちゃいますね。
開始届出書の届出
初期登録作業
利用者識別番号を発行します!

利用開始!

国税庁ホームページで www.nta.go.jp



花いっぱいコンクールで奨励賞
本岐保育所父母の会が受賞

第36回北海道花いっぱいコンクールで本岐保育所父母の会（嶋田洋子会長）が「奨励賞」を受賞しました。

今回のコンクールには、全道から31団体の応募があり厳しい審査の結果、職場・地域の部で今回初めて奨励賞に選ばれました。

本岐保育所父母の会では、忙しい農作業の合間をぬって花壇の水まきや草抜きなど手入れが欠かされたようです。作業の中で女性同士での交流の広がりが出てきたことや、保育所の入り口にあることから子どもたちの様子を見守ることもでき、花の彩で憩いの場としても欠かせないものになっているということです。

年末年始の町有施設の休館・休業のお知らせ

年末年始の町有施設、各種業務は、次のとおりお休みいたします。（施設は休館日を含みます。）

役場
12月30日から1月4日まで
中央公民館（図書室）
12月29日から1月5日まで
農業者トレーニングセンター
12月29日から1月5日まで
町民会館
12月29日から1月5日まで
児童館
12月30日から1月4日まで
デイサービスセンター
12月30日から1月4日まで
地域包括支援センター
12月29日から1月6日まで
木材工芸館
12月30日から1月6日まで
公衆浴場
12月31日は正午～午後4時まで営業
1月1日は
1月3日は
休業
1月4日から通常営業

この期間が収集日となります

ゴミ収集
12月31日から1月4日まで

上下水道業務
冬期間の上下水道凍結は直接業者にお申し出ください。なお、年末年始は次の業者が担当します。1月1日は業者も休みとなります。
・12月30日から31日まで
(株)土田電業社 ☎76 2031
・1月2日から4日まで
(株)清水建設 ☎76 2672

いる地域の皆さんは、次の収集日までゴミをご家庭で保管して下さるようお願いいたします。
一般廃棄物最終処分場およびリサイクルセンター
12月31日から1月4日まで
クリーンセンター
12月30日から1月4日まで
生ゴミの直接搬入
毎週火曜日・金曜日は直接搬入の指定日になっていきますが1月2日（金）は休みのため搬入はできません。